

2017年7月6日(木)

河北新報

南三陸・被災女性らチャーム作り講習



芦田さん(左から4人目)にチャームの作り方を学ぶワークショップ。中央が藤原さん

デザイナー芦田さんから指導

東日本大震災で被災した南三陸町などの女性が製作するマスコット付きキーホルダー「ミナ・タン チャーム」の新商品作りをデザイナーから学ぶワークショップが6月30日、同町の南三陸ホテル観洋であった。活動を支援する女優藤原紀香さんが訪れ、女性たちを激励した。

県内の女性8人が参加。チャームを考案した服飾デザイナー芦田多恵氏から、来年の干支にちなんでラブラドルレトリバーやプードルといった犬のチャームの縫製を教わった。インターネットのブログで活動を紹介してきた藤原さんは一人一人に声を掛けて励ました。藤原さんは「表情が明るく素晴らしい。こ

のエネルギーを今後も伝えていきたい」と話した。チャーム作りは2013年、被災者にもものづくりを通して生きがいを感じてもらおうと始めた。翌年の干支に合わせてデザインし、芦田さんの直営店やネット販売。イタリヤ製の高級生地を使った品質の高さが評判を呼び、これまでに約5500個が売れた。

14年から参加する東松島市の主婦剣持洋子さん(64)は「検品は厳しいが、それが張り合いになる。生活の一部になった」と話す。芦田さんは「震災の風化を防ぐためにも製作を続ける。質の良さを追求し、たくさんの人に手にとってもらいたい」と語った。

女優・藤原紀香さんも激励

情が明るく素晴らしい。こ